

ご利用になる前に必ずお読みください

このPDFファイルの内容についてのご質問・お問い合わせは株式会社アスキー・メディアワークスでは一切お受けできません。ご自身の責任においてご利用ください。



この作品は、クリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスの下でライセンスされています。この使用許諾条件を見るには、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/>をチェックするか、クリエイティブ・コモンズに郵便にてお問い合わせください。住所は：171 Second Street, Suite 300, San Francisco, California 94105, USA です。

このファイルをクリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスに基づいて利用する際には、下記クレジットを必ず作品や配布物に表示する必要があります。

クレジット：

- 文/あわしろいくや (Ubuntu Japanese Team)
- 写真/岡田清孝
- デザイン/シオズミタロウ
- 初出/株式会社アスキー・メディアワークス「Ubuntu Magazine Japan vol.04」(<http://ubuntu.asciimw.jp/>) 2010年5月31日発行

出た!!!

Ubuntuユーザなら注目の、NetWalkerの新機種をハードとソフト両面から解説し、さらにオススメの使い方までを徹底解説だっ!

文/あわしろいくや (Ubuntu Japanese Team)、写真/岡田清孝

新NetWalker 徹底解剖



NetWalker PC-T1

●シャープ
●<http://www.sharp.co.jp/netwalker/pct1/>
実売価格 4万7000円前後

OS	Ubuntu 9.04 (ARM版スマートブックリミックス、シャープカスタマイズ版)
CPU	Freescale i.MX515
メインメモリ	512MB固定
ディスプレイ	タッチパネル付5型ワイドTFT液晶 (WSVGA対応、LEDバックライト) 1024×600ドット
入力装置	ソフトウェアキーボード、 オプティカルポイント (光学式ポインティングデバイス)、 タッチパネル
本体フラッシュメモリ	8GB(ユーザーエリア約1.5GB)
通信機能	ワイヤレスLAN(IEEE802.11b/g)、 Bluetooth
カードスロット	microSD/SDHCカード
接続端子	ヘッドホン出力、マイク入力、USB2.0×1、 miniUSB×1
電源	専用リチウムイオンバッテリー (型番:EA-BL14)
バッテリー駆動時間	約6時間
バッテリー充電時間	約2.5時間(電源オフ時)
サイズ・重量	150×90×18.0~21.3mm・約280g

キーボードのない 新NetWalker

シャープ「NetWalker」に待望の新モデルPC-T1が追加された。このたびの新機種はなんと、キーボードがない。これにより、大幅に軽量化され、またコンパクトになった。

左手で押すボタンは1つになり、右手で押すボタンがオプティカルポイント兼右クリックとなった。オプティカルポイントを長押しすると、カーソルモード(通常)とスクロールモードを切り替える機能もついた。なお、これらの機能はカスタマイズできる。

バッテリーは先行して発売されたキーボードありのモデル、PC-Z1とは違って着脱可能になったが駆動時間が約10時間から6時間に短縮された。しかし、ACアダプタはminiUSBで接続する形式になり、メーカー保証外となるも

の市販の外部バッテリーが使用できる。また、PCからの給電も可能になった。

CPUやメモリ、ディスプレイなど基本的なスペックは、現行機種Z1と同じだが、新たにBluetoothが追加され、キーボードやマウスを接続するのにUSBポートをふさぐ必要がなくなったのはうれしい。

ソフトウェアレベルでは完全に互換性があるので、Z1とT1は使い分けることもできる。使える周辺機器も、USB接続のものであれば完全に同じだ。microSDカードやNASサーバでデータの交換を行うと簡単でいいだろう。

両機の使い分けだが、移動中に使うことが多い場合はT1を、出先で落ち着いて使用する場合はZ1がいいだろう。というのも、T1はディスプレイの角度を自分で保たなくてはいけないので、長時間使う場合はわりと苦労する。

なお、Z1も継続して販売されるので、キーボードが必要であればこちらを選択しよう。店頭で比較してみるといいだろう。

PC-Z1と並べてみた



▲ディスプレイのサイズ以外は全く違うことがわかる。併売されているので好みの方を選択しよう。

インタフェースの刷新

電源ボタンは本体上部で、右に引くと電源が入り、左に引くとホールドする。サスペンドに移行する場合は、1秒程度右に引く。復帰するのも同じ方法だ。USBポートも上部にある。その横はmicroSDカードスロットがあり、Z1よりも交換が簡単になった。電子辞書モデルのPC-Z1JではmicroSDカードで辞書を提供していたが、T1では辞書データが本体に内蔵されたので、micro

SDカードにアクセスしやすくなった。通信機能はZ1と同じく無線LANのみで、USB接続でイー・モバイルなどにも対応する。

本体下部には、イヤホン出力とマイク入力とminiUSB端子がある。miniUSBはACアダプタ接続用としての利用が主な用途だろう。Z1では外部バッテリーの選択肢がほとんどなく、高価な上に汎用性も低いのがネックだった。外部バッテリーと併用することができるので、バッテリーの容量が減

ったことは大きなデメリットにはならないだろう。とはいえ、あくまで外部バッテリーの使用はメーカー保証外の行為であることは頭に入れておこう。

スタイラスはT1にも付属し、Z1よりも活躍の機会は多くなるだろう。本体添付のケースに収納し、名機Zaurusのようにスタイラスを本体に収納するようなスペースはない。実際に使用するとなくしてしまう可能性が高い。ストラップホールはあるので、市販のストラップ付きスタイラスを購入するといいかもしれない。

TOP



▲左側は電源スイッチ。左に引くとホールドになる。右側はUSBポートとmicroSDカードスロットで、ゴムのカバーで汚れにくくなっている。

BOTTOM



▲左端にはストラップホールがある。端子は、左からマイク入力、ヘッドフォン出力、miniUSBだ。残念ながら今のところマイク出力は使いみちがない。

microSDカードスロット

▲本体底にあったPC-Z1とは違って、PC-T1は本体上部にあるため、簡単に交換が行える。デジタルカメラや携帯電話などの機器のmicroSDカードを手間なく差し込める。



外部バッテリー



▲非推奨だがサンヨーの「エネループ・モバイルブースター (KBC-E1AS) は使用できた。

通信機器の接続



▲イー・モバイルのD31HWなどのUSBモデムを接続し、簡単な操作で使用できるようになる。

画面角度も決められる



▲やや大きめではあるが、本体のスタンドにT1を立てかけて利用できる。

RBK-2100BTJ

●リュウド
●<http://www.reudo.co.jp/board/rbk-2000bt2.html>
直販価格 9800円



持ち運べる Bluetoothキーボード
PC T1で長文を入力したい場合、このキーボードを持ち歩くといいだろう。コンパクトに折りたたむことができ持ち歩いても邪魔にならず、もちろんケーブルもない。最初に設定をしておけば、使いたいときにサッと開いてPC-T1をたてかけ、すぐに打ち始めることができる。色も黒でピツツリと合い、とてもクールだ。ただし、単四電池2本が必要なのは忘れないうでおこう。

ペアリング中



▲表示されたパスキーをキーボードで入力して接続完了だ。

ペアリング方法



▲ここではランダムなパスキーを使用するので、このまま[進む]をクリック。

接続



▲キーボードは入力サービスなので、このまま[進む]をクリック。

ペアリングの設定



▲Bluetoothマネージャを起動し、キーボードをペアリングできるようにしてしばらく待つとキーボードを認識する。それを選択して[セットアップ]をクリック。

ソフトウェアから新ネットワークカーをチエック!!

Check 01 専用ランチャーが起動しているデスクトップ

美しい壁紙にシンプルなランチャー

wbarランチャー



よく使うアプリをすばやく起動できる専用ランチャー。TwitterアイコンはFirefoxのショートカット。

PCZ1ではランチャーはなく、壁紙にマスコ目があったのだが、PC T1ではwbarランチャーというランチャーが追加された。ポインタを当てるとアイコンが大きくポップアップするので、わかりやすい。起動できるのはすべてアプリケーションで、辞書や電子書籍にすぐアクセスできる(マニュアルは上部パネルにショートカットが置かれている)。

右上の通知トレイには、Bluetoothのアプリレットが追加されたのが大きな違いだ。ほかにもいろいろアイコンが追加されているが、順次解説しよう。

Check 02 ホットキーの代わりに「デバイスの設定」でコントロール

キーがなくなった代わりに追加された設定ツール

デバイスの設定



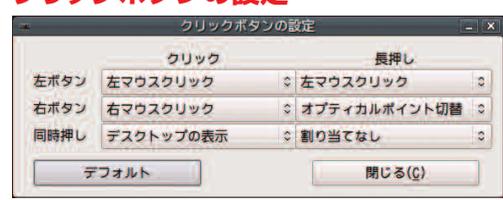
キーボードがないので、無線LANやBluetoothのオン・オフはここでやる。

PC T1ではキーボードやボタンがなくなった都合で、Z1ではホットキーやボタンを押すことによつて切り替えていた無線LAN、Bluetooth、オプティカルポイントを切り替える専用のツールが追加された(オプティカルポイントだけはこの設定ツールを使わなくても切り替え可能)。室内では無線LANやBluetoothはオンにしているも外出先ではオフにするなど、この設定ツールはひんぱんに利用する機会があるので、工具マークのアイコンでショートカットが上部パネルに置かれている。または「システム」・「設定」・「デバイスの設定」でも起動できる。

Check 03 クリックボタンのカスタマイズをしておこう!

快適さを左右する重要な設定だ

クリックボタンの設定



日本語入力をするために、すばやくキーボードを起動させたいなら、ここでカスタマイズ。同時押し+長押しに割り当てておきたいだろう。

泣いても笑ってもボタンは2つしかないで、これにどんな機能を割り当てるかによつて快適さが変わってくる。「システム」・「設定」・「クリックボタンの設定」で起動するクリックボタンの設定がそのツールだ。左図のとおり6つのパターンで設定できるが、空いているのは「同時押し」の「長押し」だけで、ここには「キーボード表示」を割り当てるのが筆者のおすすだ。それ以外は変更すると設定の重複などで動作に支障をきたすこともあるので、よく検証を行おう。

Check 04 デスクトップ上のランチャーを切り替え

ネットブックランチャーも使えるのだ!

Netbookランチャー



Netbook Remixでおなじみのランチャーが表示される。狭い解像度でも問題なく使用できるので、一度試してみるといいだろう。

ランチャーの切り替え



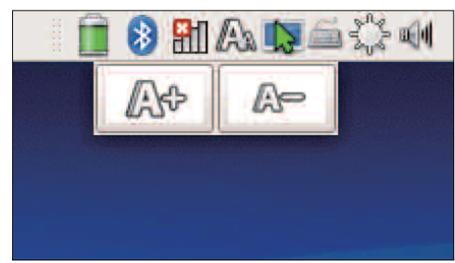
ここにも書かれているとおり、リアルタイムでの切り替えは不可能で、一度ログアウトする必要がある。

「システム」・「設定」・「ランチャーの切り替え」で、このwbarランチャーとNetbookランチャーを切り替えることができる。それだけではなく、ランチャーをオフにもできる。

Check 05 表示文字の大きさを変える

文字の大きさは自在に変更できる

表示文字の大きさ



十をクリックすると文字が大きくなり、一で小さくなる。拡大・縮小しても文字はくっきり。

画面の表示文字の大きさを簡単に変更できるようになった。1クリックで画面全体の文字の大きさを変更できる。普段は狭いデスクトップを有効に活用するために表示文字を小さくしておき、必要に応じてだけピンポイントで大きくすることがができる。通常こういった機能は切り替えのたびに長い時間がかかるが、PC T1だとそれほど待たされずにサクサク変更できるので、ひんぱんに使ってもそれほどストレスを感じないだろう。極端に変更するとアイコンに文字が被るなど表示がおかしくなるので、ほどほどに。

タブレットパネル、日本語入力をチェック!!!

BRAND NEW Net Walker

CHECK !!

Check 01 ソフトウェアキーボードのSoftStylus

思ったよりもスムーズに打てる

新たに採用されたソフトウェア・キーボードは「SoftStylus」(ソフトスタイル)という。大きさを自在に変更できるので、自分の手の大きさに応じてカスタマイズできる。スタイルはもちろん、爪や親指でも押すことができる。Aの左横に「半角/全角」キーがあるのはやや気になるが、少なくとも手がそれほど大きくなく、指が細長い筆者には、わりと打ちやすい。Zは横幅が広く完全に両親指だけでタイプするのは困難だったが、T1だと問題なく打てる。しかも間違えて押すこともそんなに多くない。もちろん速くは打てないし、タッチタイプは不可能だが、ちょっと打つぐらいならこのソフトウェアキーボードで充分で、たくさん入力する場合はBluetoothやUSBで外付けキーボードを接続すればいい。

出た!! 新NetWalker徹底解剖

ソフトウェアキーボード



●普通にテキスト・エディタへ日本語の文章を入力してみた。両親指で入力するならこのぐらいの大きさで。

スタイラスを使用



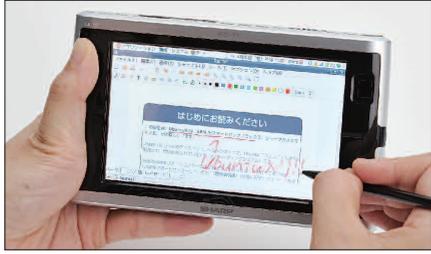
●スタイラスで入力する場合は、キーボードを小さくしても問題なく入力できる。どちらかといえばこちらが標準的。

手書き文字認識



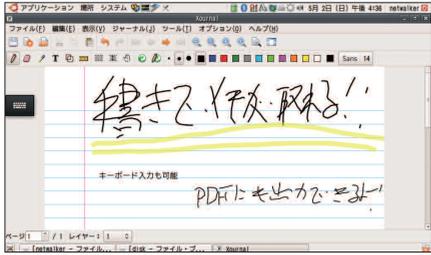
●手書き認識で長文を入力してみた。このぐらいの文章であれば、誤認識もほとんどなかった。恐るべき精度だ。

Xournal使用例



●PDFの電子マニュアルを読み込んで、校正を書き込んでいた様子だ。これはスタイラスがないと辛い。

手書きメモとして



●まっさらから書くとこんな感じだ。ノート風の外觀は悪くない。

Check 02 手書き文字の認識機能はどうか?

ちょっと待って! とても優秀

SoftStylusには、手書き文字の認識機能がある。これも充分に実用的だ。書いている最中に認識されるインクリメンタルモードではなく、書き終わってから1秒程度待たされるが、汚く書いてしまったとしてもほとんど誤認識がないのでストレスも少ない。誤認識しても入力エリアの下にいくつか表示されているので、簡単に修正できる。日本語とアルファベットは切り替える必要があることと、記号は認識しないことを覚えておけば、難しいことは特にない。ソフトウェアキーボードに慣れない場合はこのモードを使用するといいたろう。

Check 03 手書きのメモを取ってPDFに! Xournal

これこそがキラーアプリケーション

タッチパネルやソフトウェアキーボードを活用するアプリケーションとして、Xournalが用意されている。これはPC T1のため用意されたアプリではなく、通常のUbuntuのリポジトリにもあるが、メニューの日本語化など、独自にカスタマイズしたパッケージになっており、ずっと使いやすくなっている。起動するとノート風の画面で、手書き文字と文字入力のどちらにも対応している。マーカーで線が引けたり、図形を書いたりなどのほか、レイヤー対応など、ドロー(図形描画)系アプリとしてひとりの機能を備えている。そればかりでなく、PDF

Fを読み込んでメモを書き加え、さらにPDFに出力する機能もある。幅広用途が考えられる。活用する際はいくつかコツがある。標準では用紙サイズの設定がUSレターになっているので、「ジャーナル」・「用紙サイズ」でA4に設定しておく、PDFにしてほかのPCから印刷する場合に困らずにすむ。ほかには、「ジャーナル」・「背景の読み込み」で画像ファイルを読み込むと、これにも直接メモが書けるようになり、もちろんPDFで出力できるようになる。すなわち、PDF以外のファイルも読み込んでメモが書けるということだ。どちらも覚えておくと便利だろう。

Xournalの使い勝手の良さは、文字で表現するのはなかなか難しいし、触れることで自分なりの使いみちが見つかるかもしれない。是非とも店頭で試してみたい。

新ネットウォーカーの活用方法はコレだ!!!

BRAND NEW Net Walker

CHECK !!

POINT 01 電子ブックビューワと使用png

快適な読書環境を実現

もともと電子ブックビューワとしての用途が想定されていることもあり、非常に使い勝手がいい。電子ブックビューワはあらかじめインストールされており、シャープの独自形式であるXPDFの電子ブックと、テキストファイルを読み込むことができる。著作権が切れた作品を掲載している青空文庫のテキストファイルにも対応しており、ルビを正しく表示することができる。標準で30冊以上の電子ブックが用意されているほか、Net Walkerライブラリーで新たに購入できる。

フォントの大きさなど、自分の好みの表示にカスタマイズできる。「freader」というパッケージをインストールすると、今後普及が見込まれるePub形式の電子ブックを表示できるようになる。左の図は、青空文庫からePubに変換して表示しているが、特に問題なく表示できるばかりか、縦持ち表示にも対応している。しかし、規格上縦書きは表示できず、ipadのファイルが読めるようになるわけでもない。

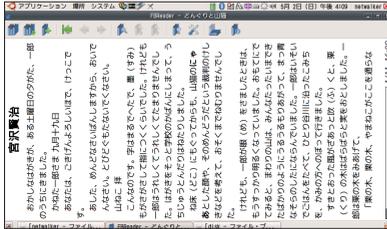
電子ブックビューワ



標準的な電子ブックビューワの使用スタイルだ。画面の左をタップすると次のページに、右だと前のページへ移る。

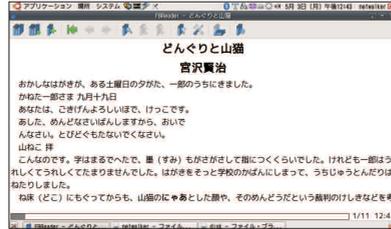
縦書き表示と横書き表示の切り替えや、縦持ち横持ちの切り替え、

ePub縦置き表示



■1クリックで簡単に縦置き表示になる。オプティカルポイントでスクロールモードにして、向かって左にスクロールさせて続きを読もう。

ePubを表示した



■こうやってePubを表示できるだけでも感動的だが、フォントがキレイなので読みやすく、実用的であることに気づく。

POINT 02 フォトビューアとして使用する

大画面・高解像度で写真をチェックする

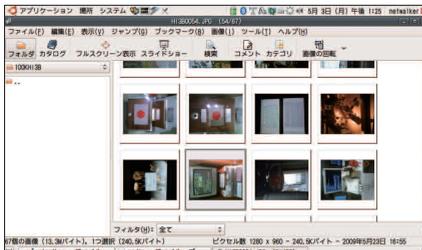
いまだきの携帯電話は撮影した写真をmicroSDカードに保存するので、これをPCに挿入し、フォトビューアとして使用すると、携帯電話よりも大きな画面で高解像度表示できるので、より容易かつ詳細に写真の確認が行えるようになる。標準でもそれなりの画像ビューワが搭載されているが、「gThumb」というパッケージをインストールすると、より使い勝手が向上する。

Eye Of GNOME



■必要最低限の機能は持っていてかつ軽量だ。まずはこれから使ってみよう。問題なければ継続使用すればいい。

gThumb画像ビューア



■サムネイル表示はファイルマネージャよりも大きくて見やすく、全画面表示なども簡単にできる。

標準の画像ビューワは「Eye of GNOME」といい、画像ファイルをダブルクリックすると起動するのがこれだ。1つのフォルダに複数の画像ファイルがある場合、「前

「ビューア」タブを確認しよう。

機能はサムネイル表示のほか、フルスクリーン表示やスライドショーといった基本的なものももちろん、画像情報の修正や検索、簡単なレタッチ、画像サイズの変更やフォーマットの変換なども行える。本体に写真を取り込む機能もあるが、使用する機会はないだろう。なお、ウィンドウよりも画像が大きくてもそのまま表示するが、これを縮小したい場合は設定の

電子辞書メニュー



■ここで各辞書を選択し、実際の検索画面へいく。真ん中一番下が一括検索で、一番使う機会が多いだろう。

一括検索も可能だ。速度も問題なく、検索結果は瞬時に表示される。

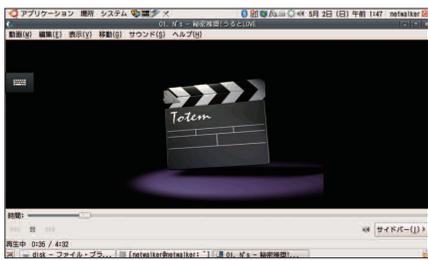
POINT 03 電子辞書とキーボードのない電子辞書

キーボードのない電子辞書

キーボードのない電子辞書はきわめて珍しいが、ソフトウェアアキボードが使いやすいのでたいした問題ではない。辞書はジーニアス英和辞典・ジーニアス和英辞典・スパー大辞林・漢語林・新世紀ビジュアル大辞典・コーパス英語使い分け200・ことば選び辞典・三省堂故事ことわざ慣用語辞典・新明解四字熟語辞典セレクタ版・現代用語の基礎知識2010年版・新冠婚葬祭辞典・文書文例辞典の12種類が内蔵されており、それらの辞書を一度に検索する一括検索も可能だ。速度も問題なく、検索結果は瞬時に表示される。

出た!! 新NetWalker徹底解剖

音楽ファイルを再生



何を再生しているかは、タイトルバーを見ないとわからない。複数曲を再生する場合、サイドバーを表示させよう。

再生できる形式はPCZ1と同等で、動画だとMP4、H.264、WMV形式、音楽だとMP3、AAC、WMA形式で、しかもDRMがかかっているものも再生できず、あまり豊富とはいえない。かといって別のプレイヤーを使用すれば他形式を再生できるかという点、動画再生支援が使える標準のプレイヤー以外のプレイヤーではスムーズに再生できないので、一部の例外を除いて再生できる形式はこれ以上増えない。扱える動画のサイズは、ソニーのPSPやアップルのiPodよりも大きく、また画面も大きくキレイなので、モバイルの動画再生環境としては恵まれているといえる。しかし、少なくとも動画再生環境としては、PCZ1よりもディスプレイの角度が調整できるZ1に軍

POINT 04
動画・音楽プレイヤーとして使用する
使い勝手はおおむね
良好だが……??

動画ファイルを再生



実際に全画面表示で再生するだろう。最新のハードウェアで古典の映画を見るというパラドックス。

配が上がる。ずっと同じ姿勢でいるのは、わりと疲れることは頭に入れておこう。残念ながらNetWalkerで再生できる動画や音楽ファイルは市販されていないので、自分で作成する必要がある。音楽ファイルの場合はMPEG3ないしAACが使われていると思われるのであまり問題にならないだろうが、Ubuntu標準の「Ogg Vorbis」は再生できないので、vorbis-toolsパッケージをインストールする必要がある。動画は、ここでのサンプル（いうまでもなく「ローマの休日」）は500円程度で購入できる著作権の切れたDVDをリッピングして使用した。動画はH.264、音楽はMP3でエンコードした。実際に再生してみたが、特に問題ない。ひとつの注意点として、標準のプレイヤーにはインターレースを解除する機能がないので、エンコードの段階で行っておく必要があることは忘れないでおこう。これと忘れると、しましまの動画になっ

クロンダイク



問題なく遊べるゲームの例。1枚引きと3枚引きが選べ、Windowsと全く同じスタイルで遊ぶことができる。

実際にT1でゲームを遊んでみた感想だが、Windowsで「ソリティア」と呼ばれているAisleRotソリティアのクロンダイク（厳密には、ソリティアは一人でやるトランプゲームの総称のこと）や、「GNOME上海」などは問題なくプレイできる。「GNOMEマインスイーパー」は間違っって意図しな

POINT 05
ゲームを追加インストールして遊んでみよう
タッチパネルで違った楽しみも

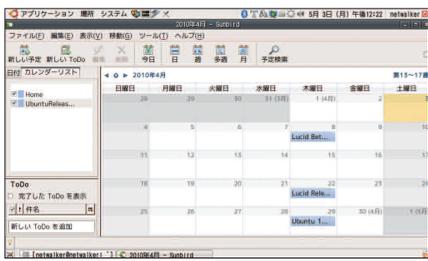
GNOME上海



これも問題なく遊べるゲーム。タッチパネルでやると、またおもしろさが違ったりするのが興味深い。

い別のブロックを開けてしまう可能性があるので、マスが多いと無理かもしれない。「GNOMEトリス」は矢印キーがないので完全に無理だ。ソフトウェアアキボードでやるたぐいのものでもないだろう。「 GNOME」はできるが、アクションはややもたつく。チェスもできるが、あまり長く考えすぎるとバッテリーが持たないかもしれない。人気の高い数独は、残念ながら数字を直接入力しなくてはならないため、難しいといわざるを得ない。ブラックジャックは、起動時の「基本戦略の思考中」に時間がかかるため、手軽にプレイするには向かない。メニューからもスタンダードを選択できるため、手間はかかるもののゲームとしては問題は遊べる。などなど、これだけあれば1つくらいは気に入ったゲームがあるだろうし、なかったとしても、どれも気軽に遊べるものばかりなので、ルールを覚えてもいいだろう。あまりにハマりすぎて電車を降りるのを忘れてしまった、ということが起きないように注意したい。

Sunbird



Googleカレンダーと同期する拡張機能がインストールされているので、設定しておこう。

機能自体はPCZ1でも同様だが、キーボードなしでスケジューリング管理となつていしえのZaurusを思い出し、むせび泣く人もいるかもしれない。「Mozilla Sunbird」は単体だとGoogleカレンダーとの同期機能はないが、あらかじめ拡張機能がインストールされているので、左タブのカレンダーリストを右クリックして表示されるウィザードに従って適切に設定すれば問題なく同期できる。操作方法はやや煩雑だが、設定は一度すればいいだけなので許容できるだろう。「Mozilla Sunbird」は将来的に単体アプリケーションとしてはなまなまになってしまいうことが確定しているの、そのリスクを考慮してもGoogleカレンダーと同期しておくのが適切だろう。

POINT 06
スケジューリングをSunbirdで管理
Googleカレンダーと同期せよ